

# 地質情報管理士に合格して

地質基礎工業（株） 鈴木 由美子



5月に地質情報管理士の試験を受験することになり、申込みをしました。正直あまり聞いたことがなく、どのような資格なのかを調べることから始めました。

資格試験自体かなり久しぶりに受験するので、勉強法などもすっかり忘れていました。

まずは合格したら、なにか自分にご褒美をと考えて、前から飼いたかった犬を飼おうと、自分の中で勝手に決めました。そうしているうちに子犬の里親がちょうど決まり、7月の受験が終わった日に受け取ることになりました。先に決まったからには絶対合格しなければと思い、勉強する原動力になりました。

試験は電子納品など業務で日々携わっている内容となることから、勉強は取り掛かりやすかったです。

今までの過去問が全地連のホームページに載っているので、過去3年分をダウンロードしました。電子納品運用ガイドラインも時間があるときには目を通すようにしていました。帰宅後、家事が終わってから、就寝前に睡魔と闘いながら、過去問を中心に勉強しました。

過去問の問題のなかでわからない用語などは、インターネットなどで検索して、そこから新たな知識を広げるようにし、問題の内容もしっかりと理解するようにしました。

仕事でも試験を意識しながら、日々業務をするようにしました。情報技術は常

に発達しているので、業務中もインターネットなどを活用して、最新の情報を得るように心がけました。

試験を受験しての感想です。

## ・ 第1部、第2部（四肢択一式）

最新の情報技術に関することが幅広く出題されていました。過去問を解くことで、出題傾向など把握することができました。

## ・ 第3部（空欄穴埋め式・記述式）

出題分野が多岐にわたっており、普段から意識して幅広い分野の新たな知識を広める必要があると感じました。

## ・ 第4部（空欄穴埋め式・記述式）

電子納品運用ガイドラインからの出題が多くされていました。日常業務中も、疑問に思ったことは、しっかりと理解していくことが大事だと感じました。

全地連のホームページの過去問やeラーニングは試験勉強するうえで、とても役に立ちました。

最後に、久しぶりに試験勉強をして、いくつになっても勉強して新しい知識を得ることは、自分の成長につながると改めて思いました。

これから日々の業務でも、資格を活かして頑張っていきたいです。